3. ご使用になる前に

付属品をお確かめください

取扱説明書（本書）

保証書

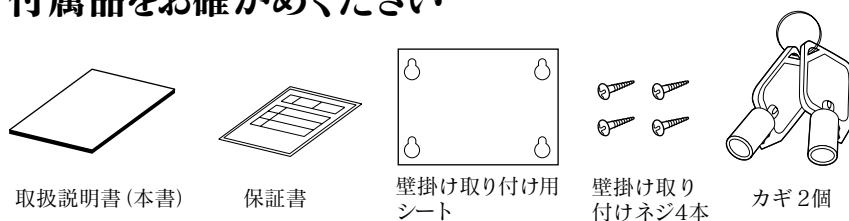
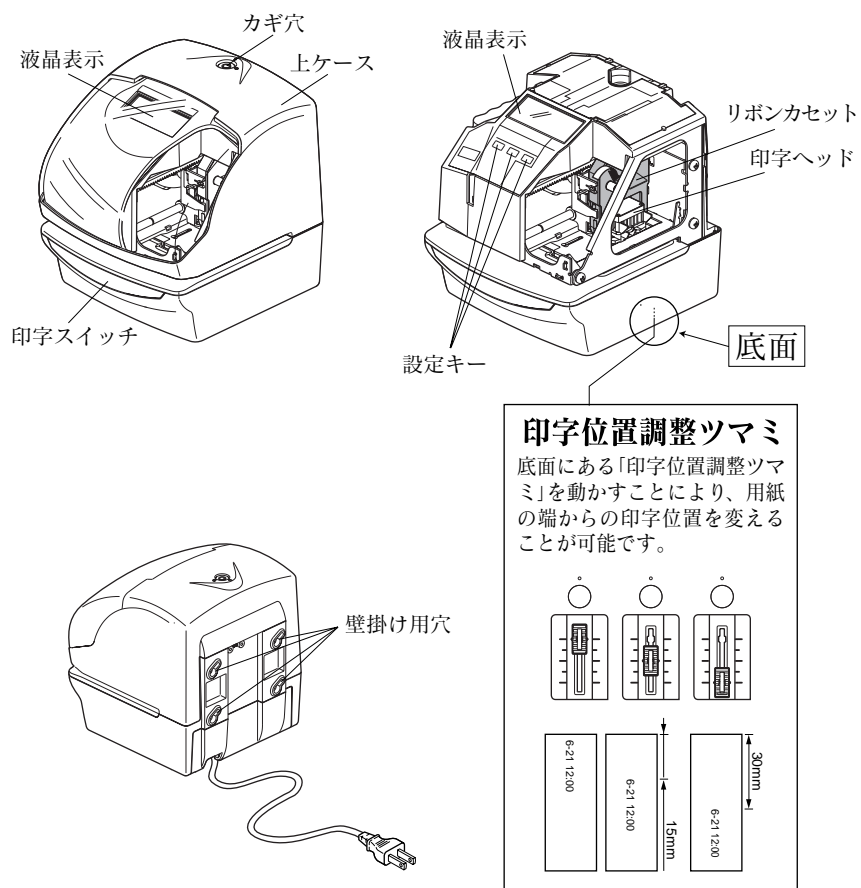
壁掛け取り付け用シート

壁掛け取り付けネジ4本

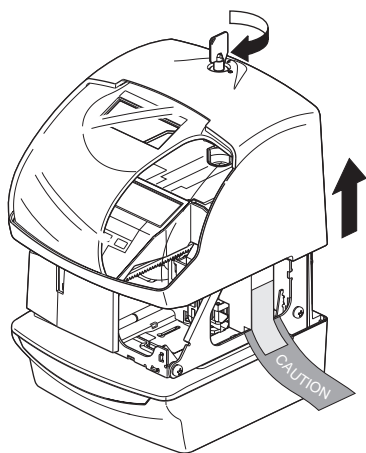
カギ２個

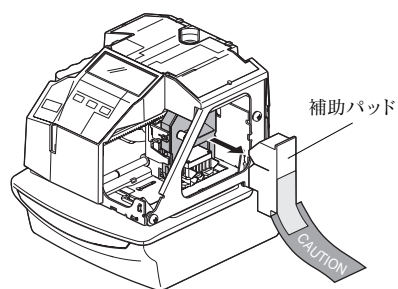
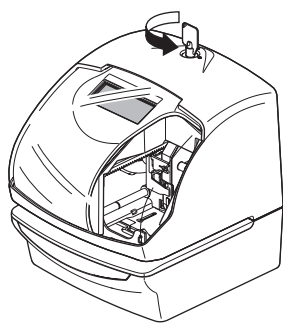
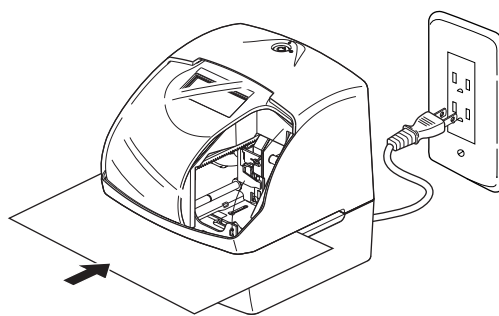
各部の名称

印字位置調整ツマミ

底面にある「印字位置調整ツマミ」を動かすことにより、用紙の端からの印字位置を変えることが可能です。

すぐお使いいただくために

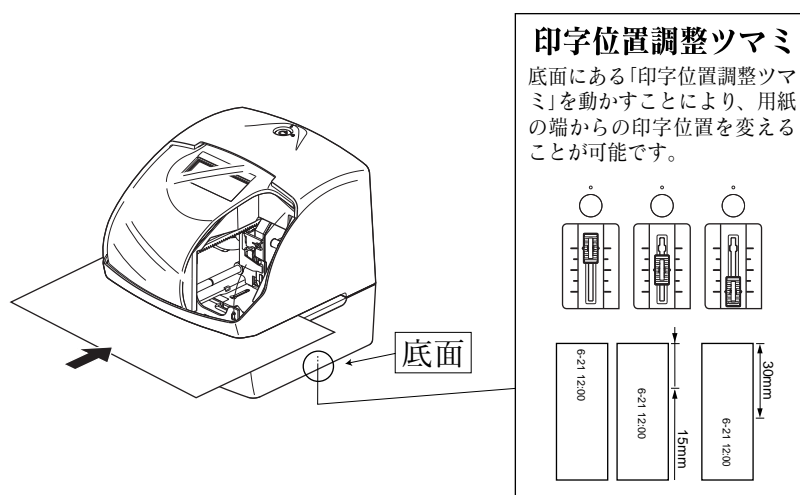
タイムスタンプ内部の補助パッドをはずしてください。

1 “カギ”をあけ“上ケース”をはずします。

2 “補助パッド”をはずします。

コンセントにさしこむ前に補助パッドを必ずはずしてください。

3 “上ケース”を戻し“カギ”を閉めます。

4 コンセントに電源プラグをさしこみ、用紙を挿入すればお使いいただけます。

4.日常の操作

年月日･曜日･時刻はセット済みですので、コンセントにさしこむだけですぐお使いいただけます。

 前述の「3.ご使用になる前に」を必ずお読みください。

そのままの状態でもすぐお使いいただけますが、「印字パターン」などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、後述の「5.設定のしかた」をご参照ください。
印字位置の調整のしかたは、下記の『印字位置調整ツマミ』の項をご参照ください。

設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。

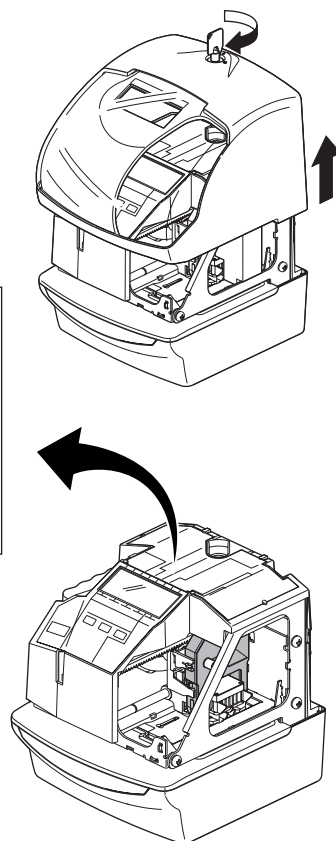
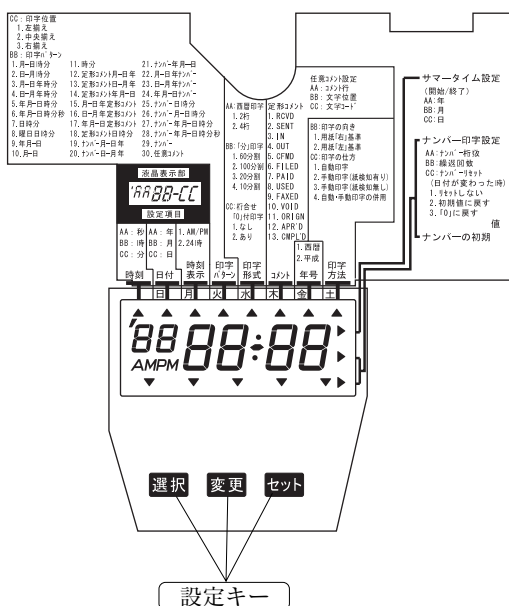
●湿気やほこりの多い場所
●直射日光のあたる場所
●振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
●気温が－5℃以下や、45℃以上の場所
●化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所

5.設定のしかた

設定の準備

時刻や日付、ナンバリング、印字パターンなどを設定する前に、“カギ”を開け“上ケース”を外して、設定できる状態にします。

> 設定をする時は、コンセントに電源プラグをさしこみ通電した状態で行ってください。

右図のように“カギ”を開け、“上ケース”の左右2ヶ所を持ち、上に引き上げ外します。

各設定は、液晶表示を見ながら選択キー、変更キー、セットキーを使って行うことができます。

各設定キーの機能

選択キー：設定する項目を選択します。

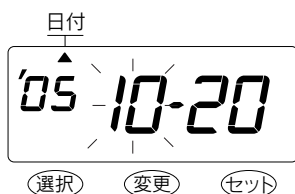
変更キー：設定する値を変更します。1回押すたびに数値が1加算されます。

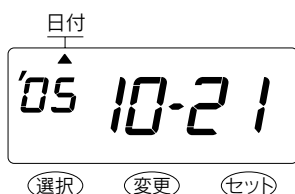
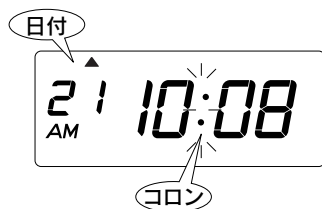
セットキー：変更した値を確定します。確定後、もう一度押すと、設定モードから通常のご使用状態に戻ります。

日付の設定

例　2005年10月20日を同年同月21日に変更する場合

1 選択キーを押して、“▲”印を“日付”に合わせます。
このとき、“年”が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

2 例では、“年”は2005年のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
これで2005年が設定できました。
このとき表示の点滅は“年”から“月”に移ります。

3 例では、“月”は10月のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
これで10月が設定できました。
このとき表示の点滅は“月”から“日”に移ります。

4 “日”を変更します。
（例20日→21日）
変更キーを押して、“21”日に合わせて、次にセットキーを押します。
これで21日が設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

5 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

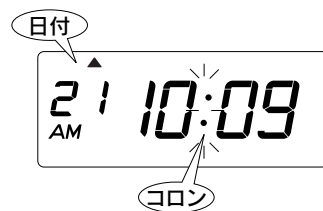
時刻の設定

例　10時08分45秒を10時09分00秒にする場合

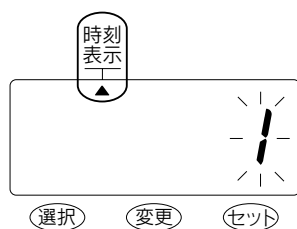
❶ 選択キーを押して、"▲"印を"時刻"に合わせます。
このとき、"時"が点滅します。

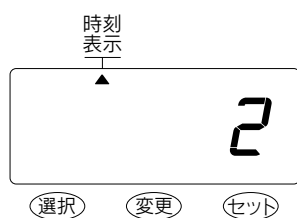
点滅している数字を変更できます。

❷ 例では、"時"は10時のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。これで10時が設定できました。
このとき表示の点滅は"時"から"分"に移ります。
また、"秒"は"00"秒になります。

❸ 時刻の"分"を変更します。
（例8分→9分）
変更キーを押して、"9"分に合わせて、次にセットキーを押します。
（秒が進みだします。）
これで9分が設定できました。

❹ 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

時刻表示の設定

例 24時制表示を設定する場合

1 選択キーを押して、"▲"印を"時刻表示"に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

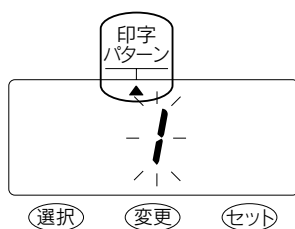
点滅している数字を変更できます。

2 例では、変更キーを押して、"2"(24時制表示)に合わせて、次にセットキーを押します。
これで"時刻表示"を"24時制表示"に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	時刻表示	表 示
1*	AM/PM表示	PM3:00
2	24時制表示	15:00

*は初期設定値

3 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

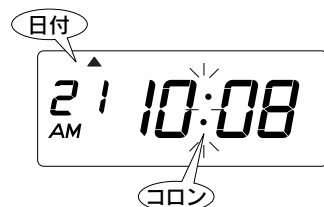
印字パターンの設定

例 印字パターンを“月－日年時分”に設定する場合

1 選択キーを押して、“▲”印を“印字パターン”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

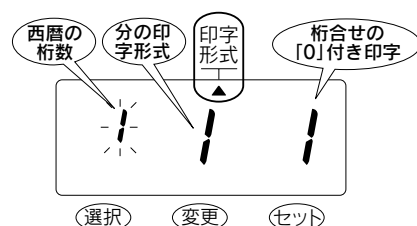
点滅している数字を変更できます。

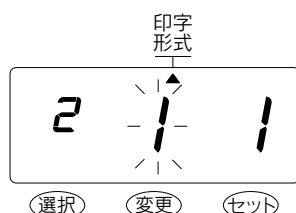
2 例では、変更キーを押して、“3”(月－日年時分)に合わせて、次にセットキーを押します。
これで“印字パターン”を“月—日年時分”に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	印字パターン	印字例	設定値	印字パターン	印字例
1*	月－日 時 分	6-21 10:00	17	年 月－日 定形コメント	05 6-21 SENT
2	日－月 時 分	21-6 10:00	18	定形コメント 日 時 分	SENT 21 10:00
3	月－日 年 時 分	6-21 '05 10:00	19	ナンバー 月－日 年	000123 6-21 '05
4	日－月 年 時 分	21-6 '05 10:00	20	ナンバー 日－月 年	000123 21-6 '05
5	年 月－日 時 分	05 6-21 10:00	21	ナンバー 年 月－日	000123 '05 6-21
6	年 月－日 時 分 秒	05 6-21 10:00:00	22	月－日 年 ナンバー	6-21 '05 000123
7	日 時 分	21 10:00	23	日－月 年 ナンバー	21-6 '05 000123
8	曜日 日 時 分	月 21 10:00	24	年 月－日 ナンバー	05 6-21 000123
9	年 月－日	05 6-21	25	ナンバー 日 時 分	000123 21 10:00
10	月－日	6-21	26	ナンバー 月－日 時 分	123 6-21 10:00
11	時 分	10:00	27	ナンバー 年 月－日 時 分	123 '05 6-21 10:00
12	定形コメント 月－日 年	SENT 6-21 '05	28	ナンバー 年 月－日 時 分 秒	123 '05 6-21 10:00:00
13	定形コメント 日－月 年	SENT 21-6 '05	29	ナンバー	00123
14	定形コメント 年 月－日	SENT '05 21-6	30-1	任意コメント (15ページを参照ください)	
15	月－日 年 定形コメント	6-21 '05 SENT	30-2		
16	日－月 年 定形コメント	21-6 '05 SENT	30-3		

*は初期設定値

3 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

印字形式の設定

例 西暦印字の桁数を"4桁"に、分の印字形式を"60分を100分割した印字"に、桁合せの「0」付き印字を"あり"に設定する場合

1 選択キーを押して、"▲"印を"印字形式"に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

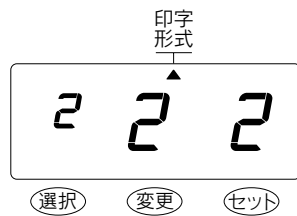
点滅している数字を変更できます。

2 例では、変更キーを押して、"西暦印字"の桁数を"2"(4桁)に合わせて、次にセットキーを押します。
これで"西暦印字の桁数"を"4桁"に設定できました。
このとき表示の点滅は"西暦印字の桁数"から"分の印字形式"に移ります。

設定値	西暦印字の桁数	印字例
1*	2桁	6-21 '05 10:00
2	4桁	6-21 2005 10:00

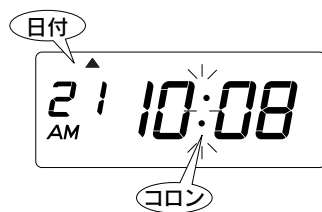
*は初期設定値

3 次に、変更キーを押して、"分の印字形式"を"2"(100分割)に合わせて、セットキーを押します。
これで"分の印字形式"を"60分を100分割した印字"に設定できました。
このとき表示の点滅は"分の印字形式"から"桁合せの「0」付き印字"に移ります。

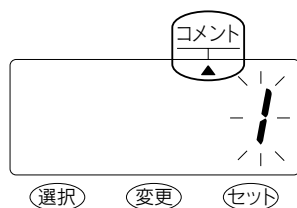
設定値	分の印字形式	印字例(2005年6月21日10時10分)
1*	60分割(通常の印字)	6-21 2005 10:10
2	100分割(60分を100分割した印字)	6-21 2005 10.17
3	20分割(3分で5ずつ繰り上がる印字)	6-21 2005 10.15
4	10分割(6分で1ずつ繰り上がる印字)	6-21 2005 10.1

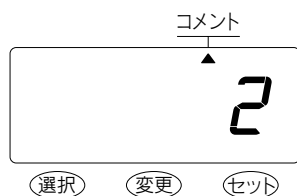
*は初期設定値

4 次に、変更キーを押して、“桁合せの「0」付き印字”を“2”（あり）に合わせて、セットキーを押します。
これで“桁合せの「0」付き印字”を“あり”に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	桁合わせの「0」付き印字	印字例(6月1日3時0分)
1*	なし	6-1 3:00
2	あり	6-01 03:00

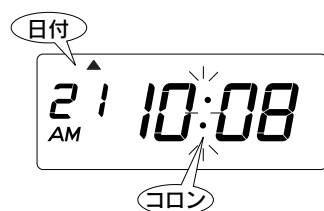
*は初期設定値

5 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

定形コメントの設定

例 コメントを定形の“SENT”に設定する場合

❶ 選択キーを押して、“▲”印を“コメント”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

❷ 例では、変更キーを押して、“2”(SENT)に合わせて、次にセットキーを押します。
これでコメントを定形の“SENT”に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	定形コメント	印字例
1*	RCVD (Received)	6-21 '05 RCVD
2	SENT	6-21 '05 SENT
3	IN	6-21 '05 IN
4	OUT	6-21 '05 OUT
5	CFMD (Confirmed)	6-21 '05 CFMD
6	FILED	6-21 '05 FILED
7	PAID	6-21 '05 PAID
8	USED	6-21 '05 USED
9	FAXED	6-21 '05 FAXED
10	VOID	6-21 '05 VOID
11	ORIGN (Original)	6-21 '05 ORIGN
12	APR'D (Approved)	6-21 '05 APR'D
13	CMPL'D (Completed)	6-21 '05 CMPL'D

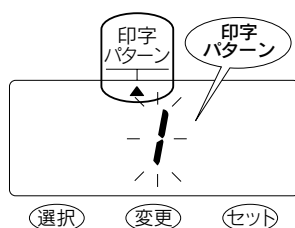
*は初期設定値

❸ 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

任意コメントの設定

- 最大3行までの任意コメントを設定できます。
- 注意：1行に印字できる文字数は、各文字のフォントサイズの合計により異なり、フォントサイズの合計で160までの文字数となります。各文字のフォントサイズは39ページの文字コード一覧を参照ください。

1行目	文字位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	文字コード	4b	4C	4d	4E	4F	01	68	5d	73	00
	文　　字	ア	イ	ウ	エ	オ	スペース	ホ	テ	ル	改行

2行目	文字位置	1	2	3	4	5	6
	文字コード	27	44	28	01	26	00
	文　　字	月	ー	日	スペース	年	改行

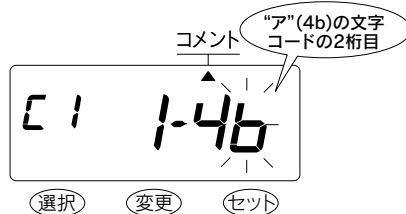
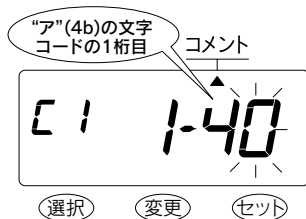
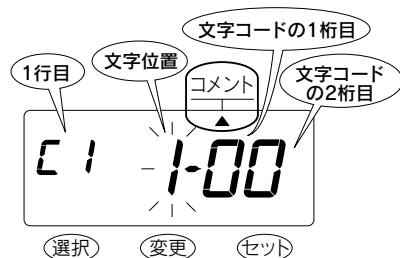
3行目	文字位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	文字コード	5b	70	5A	83	52	01	4F	4F	5d	69	5b	00
	文　　字	チ	ヨ	ダ	゛	ク	スペース	オ	オ	テ	マ	チ	改行

1 選択キーを押して、“▲”印を“印字パターン”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

2 変更キーを押して、“印字パターン”を“30”（任意コメント）に合わせて、次にセットキーを押します。
このとき表示の点滅は“印字パターン”から“印字位置”に移ります。

設定値	印字位置
1*	左揃え
2	中央揃え
3	右揃え

*は初期設定値

3 次に、変更キーを押して、“印字位置”を“1”（左揃え）に合わせて、次にセットキーを押します。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

4 選択キーを押して、"▲"印を"コメント"に合わせます。
このとき、"文字位置"が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

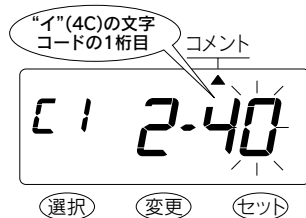
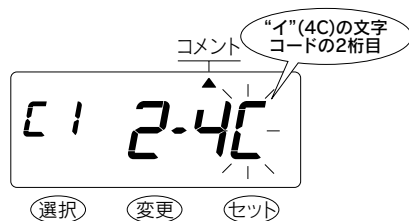
5 例では、"1"文字目に"ア"を印字するので、"文字位置"が"1"で点滅している状態で、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は"文字位置"から"文字コードの1桁目"に移ります。

6 次に、変更キーを押して、"ア"(4b)の"文字コードの1桁目"の"4"に合わせて、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は"文字コードの1桁目"から"文字コードの2桁目"に移ります。

7 変更キーを押して、"ア"(4b)の"文字コードの2桁目"の"b"に合わせて、セットキーを押します。

数字は、0、1、2……8、9、a、b……E、Fの順番で変わります。
数字の6は6と表示され、アルファベットのbはbと表示されます。

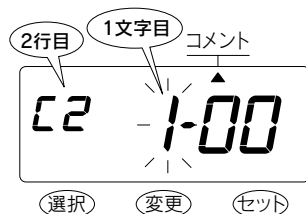
8 このとき表示は、"文字コードの2桁目"から"文字位置"に移り、"2"が点滅します。

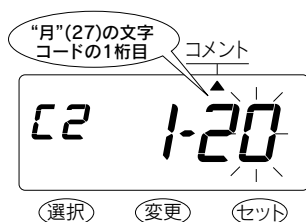
9 例では、"2"文字目に"イ"を印字すので、"文字位置"が"2"で点滅している状態で、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は"文字位置"から"文字コードの1桁目"に移ります。

10 次に、変更キーを押して、“イ”(4C)の“文字コードの1桁目”の“4”に合わせて、セットキーを押します。このとき表示の点滅は“文字コードの1桁目”から“文字コードの2桁目”に移ります。

11 変更キーを押して、“イ”(4C)の“文字コードの2桁目”の“C”に合わせて、セットキーを押します。

12 このとき表示は、“文字コードの2桁目”から“文字位置”に移り、“3”が点滅します。
3文字目以降の文字も、変更キーとセットキーを使って1、2文字目と同様に設定します。

13 1行目の最後の“文字位置”の“9”に“ル”の“文字コード”の“5A”を設定します。

14 1行目の最後に、“文字位置”の“10”に“改行”の“文字コード”の“00”を設定してください。

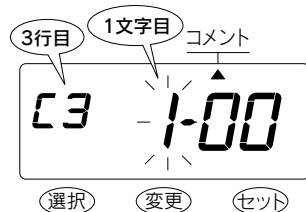
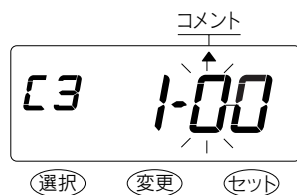
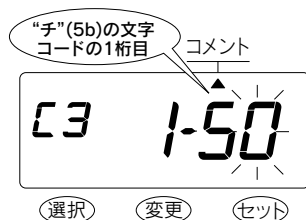
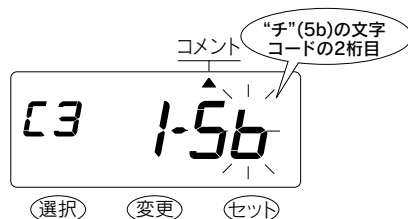
> 必ず1行目の最後の文字の次の文字位置に“改行”の“文字コード”の“00”を設定してください。この設定をすることで2行目の設定に移行できます。

15 これで、1行目の文字の設定が確定し、2行目の設定に移ります。このとき、“文字位置”が点滅します。

16 2行目も1行目と同様に変更キーとセットキーを使って設定します。例では、2行目の"1"文字目に"月"を印字するので、"文字位置"が"1"で点滅している状態で、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は"文字位置"から"文字コード"に移ります。

17 次に、変更キーを押して、"月"(27)の"文字コードの1桁目"の"2"に合わせて、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は"文字コードの1桁目"から"文字コードの2桁目"に移ります。

18 変更キーを押して、"月"(27)の"文字コードの2桁目"の"7"に合わせて、セットキーを押します。

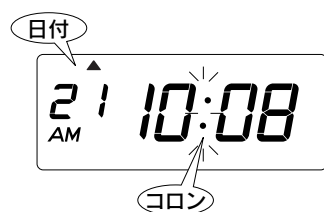
19 このとき表示は、"文字コードの2桁目"から"文字位置"に移り、"2"が点滅します。
2文字目以降の文字も、変更キーとセットキーを使って1文字目と同様に設定します。

20 2行目の最後に、"文字位置"の"6"に"改行"の"文字コード"の"00"を設定してください。

> 必ず2行目の最後の文字の次の文字位置に"改行"の"文字コード"の"00"を設定してください。この設定をすることで3行目の設定に移行できます。

㉑ これで、2行目の文字の設定が確定し、3行目の設定に移ります。
このとき、“文字位置”が点滅します。

㉒ 3行目も1、2行目と同様に変更キーとセットキーを使って設定します。
例では、3行目の“1”文字目に“チ”を印字するので、“文字位置”が“1”で点滅している状態で、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は“文字位置”から“文字コード”に移ります。

㉓ 次に、変更キーを押して、“チ”(5b)の“文字コードの1桁目”の“5”に合わせて、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は“文字コードの1桁目”から”文字コードの2桁目”に移ります。

㉔ 変更キーを押して、“チ”(5b)の“文字コードの2桁目”の“b”に合わせて、セットキーを押します。

㉕ このとき表示は、“文字コード”から“文字位置”に移り、“2”が点滅します。
2文字目以降の文字も、変更キーとセットキーを使って1文字目と同様に設定します。

3行目の最後に、“文字位置”の“12”に“文字コード”の“00”を設定してください。

必ず3行目の最後の文字の次の文字位置に“改行”の“文字コード”の“00”を設定してください。この設定をすることで、1行目の設定に移行できます。

最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

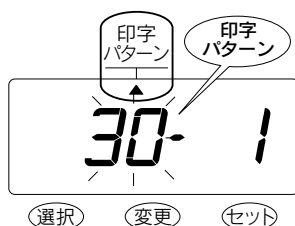
任意コメントの編集の仕方

以下の文字コードを使って編集します。

コード	内容	コード	内容
F8	文字の挿入	FC	1行目と2行目の入れ換え
F9	文字の削除	Fd	2行目と3行目の入れ換え
FA	行の挿入	FE	1行目と3行目の入れ換え
Fb	行の削除	FF	全削除

任意コメントの印字位置の設定

左揃え	中央揃え	右揃え
アイウエオ　ホテル 6-21　'05 チヨダク　オオテマチ	アイウエオ　ホテル 6-21　'05 チヨダク　オオテマチ	アイウエオ　ホテル 6-21　'05 チヨダク　オオテマチ

例　印字位置を"中央揃え"にする場合

1 選択キーを押して、"▲"印を"印字パターン"に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

2 例では、"印字パターン"は"30"（任意コメント）のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
このとき表示の点滅は"印字パターン"から"印字位置"に移ります。

3 次に、変更キーを押して、"印字位置"を"2"（中央揃え）に合わせて、次にセットキーを押します。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	印字位置
1*	左揃え
2	中央揃え
3	右揃え

*は初期設定値

4 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

任意コメントの変更のしかた

例　2行目の“年”を“時刻”に変更する場合

アイウエオ　ホテル
6-21　'05
チヨダク　オオテマチ

↓

アイウエオ　ホテル
6-21　10:03
チヨダク　オオテマチ

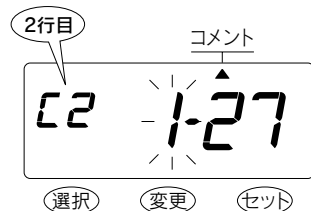
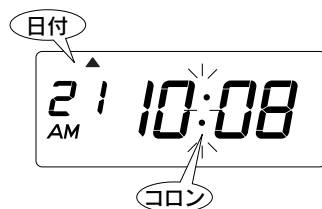
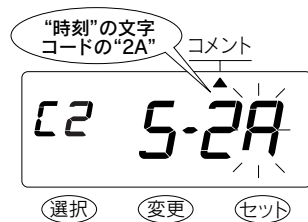
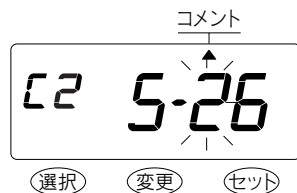
2行目	文字位置	1	2	3	4	5	6
	文字コード	27	44	28	01	26	00
	文　字	月	ー	日	スペース	年	改行

↓

2行目	文字位置	1	2	3	4	5	6
	文字コード	27	44	28	01	24	00
	文　字	月	ー	日	スペース	時刻	改行

1 選択キーを押して、“▲”印を“コメント”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

2 変更キーを押して、“文字位置”を1行目の最後の“10”に合わせます。

3 次に、セットキーを3度押して、1行目の最後の“文字位置”の“10”に“改行”の“文字コード”の“00”を設定してください。
これで、2行目の設定に移ります。
このとき、“文字位置”が点滅します。

❹ 変更キーを押して、“文字位置”が“5”で点滅している状態で、セットキーを押します。
このとき表示の点滅は“文字位置”から“文字コードの1桁目”に移ります。

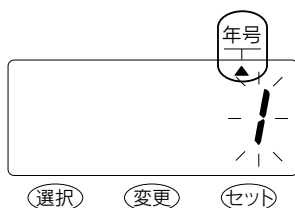
❺ “文字コードの1桁目”は“2”のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
このとき表示の点滅は“文字コードの1桁目”から“文字コードの2桁目”に移ります。

❻ 変更キーを押して、“文字コードの2桁目”を“6”から“A”に変更して、セットキーを押します
これで文字の変更ができました。

❼ 3行目も1行目と同様に操作して、最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

年号印字の設定

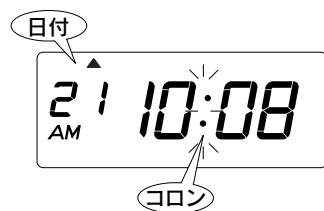
• 印字パターンの中に“年”の印字が入る場合には、“西暦”と“平成”の選択ができます。

例 “年号”の印字を“西暦”から“平成”にする場合

1 選択キーを押して、“▲”印を“年号”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

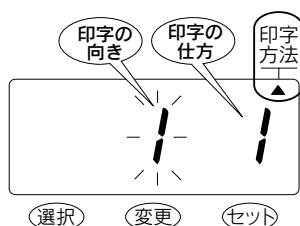
点滅している数字を変更できます。

2 例では、変更キーを押して、“年号”を“2”（平成）に合わせて、セットキーを押します。
これで“年号”の印字を“平成”に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	年号	印字例
1*	西暦	6-21 '05
2	平成	6-21 平17

*は初期設定値

3 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

印字方法の設定

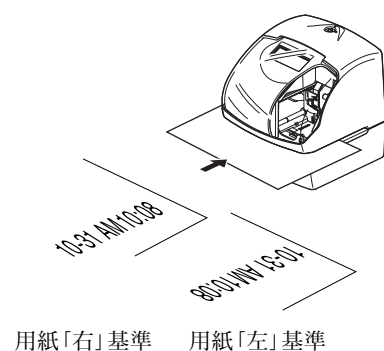
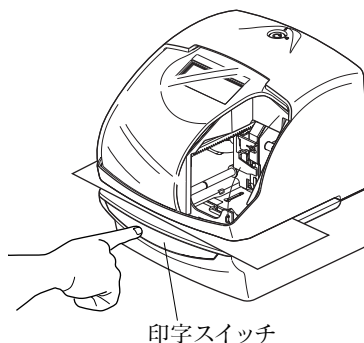
例　用紙に対する“印字の向き”の設定を“用紙「左」基準”にし、“印字の仕方”を“手動印字（紙検知無し）”にする場合

❶ 選択キーを押して、“▲”印を“印字方法”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

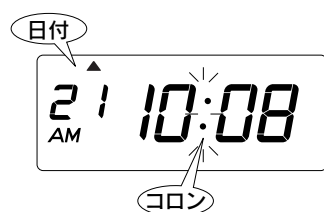
点滅している数字を変更できます。

❷ 例では、変更キーを押して、用紙に対する“印字の向き”を“2”(用紙「左」基準) に合わせて、セットキーを押します。
これで“印字の向き”を“用紙「左」基準”に設定できました。
このとき表示の点滅は、用紙に対する“印字の向き”から“印字の仕方”に移ります。

設定値	用紙に対する印字の向き
1*	用紙「右」基準
2	用紙「左」基準

*は初期設定値

用紙「右」基準　　用紙「左」基準

❸ 変更キーを押して、“印字の仕方”を“3”(手動印字(紙検知無し))”に合わせて、セットキーを押します。
これで“印字の仕方”を“手動印字(紙検知無し)”に設定ができました。
このとき表示の数字が点滅から点灯に変わります。

設定値	印字の仕方	
1*	自動印字	用紙を奥まで差し込むだけの印字
2	手動印字(紙検知有り)	用紙を奥まで差し込み、かつ“印字スイッチ”を押しての印字
3	手動印字(紙検知無し)	“印字スイッチ”を押しての印字
4	自動－手動印字の併用	用紙を奥まで差し込むだけ、または“印字スイッチ”を押しての印字

*は初期設定値

❹ 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

サマータイムの設定

日本国内でサマータイムが導入されたときに設定してください。

タイムレコーダのサマータイム機能について

❶ サマータイムの実行時間

サマータイム開始日の午前2時になると自動的に時刻が1時間進み午前3時となり、サマータイム終了日午前2時になると自動的に時刻が1時間戻り午前1時となるようになっています。

❷ サマータイムの実行日

例えば

開始日　2005年４月３日(日曜日)
終了日　2005年10月30日(日曜日)
と設定した場合、タイムレコーダーは開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と記憶します。一度設定していただければ翌年からのサマータイムの設定はタイムスタンプが**自動的に**

開始日　４月の最初の日曜日
終了日　10月の最後の日曜日

と更新しますので、**その後の設定は不要です。**

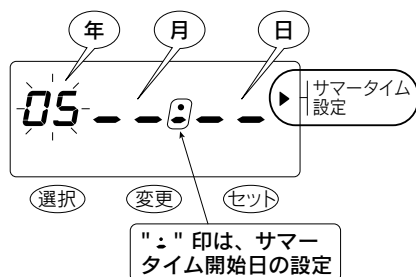
工場出荷時は、サマータイム開始日、サマータイム終了日の設定はされていません。

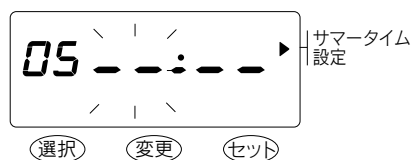
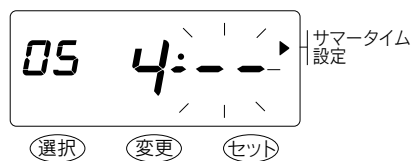
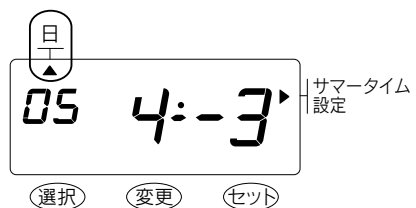
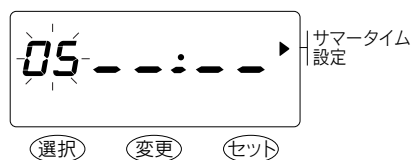
サマータイムの設定は、その年の開始日と終了日の月日を入力することにより行います。

次の例でサマータイムの設定方法を説明します。

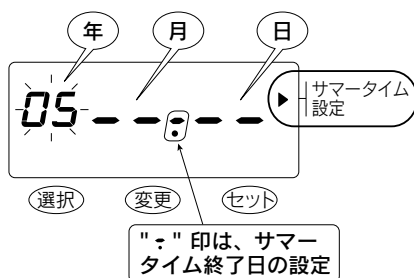
例
今　日(現在日)　2005年１月31日(月)
サマータイム開始日　2005年４月３日(日)　<４月最初の日曜日>
サマータイム終了日　2005年10月30日(日)　<10月最後の日曜日>

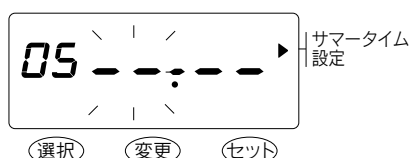
サマータイム開始日の設定

例　開始日：4月の最初の日曜日の場合（2005年4月3日の場合）

1 選択キーを押して、“▲”印を“サマータイム設定”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

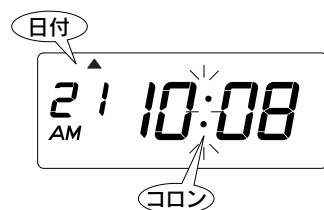
点滅している数字を変更できます。

2 例では、“年”は2005年のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
このとき表示の点滅は、“年”から“月”に移ります。

3 サマータイム開始の“月”を設定します。
変更キーを押して、“4”月に合わせ、次にセットキーを押します。
これで４月が設定できました。
このとき表示の点滅は、“月”から“日”に移ります。

4 サマータイム開始日の“日”を設定します。
変更キーを押して、“3”日に合わせ、次にセットキーを押します。
これで３日が設定できました。
このとき表示の“日”の点滅が点灯に変わり日曜日の下に“▲”印が点灯します。これでサマータイム開始日の設定が終了しました。

5 この設定の終了後、数秒すると、サマータイム終了日の設定に移ります。
サマータイム終了日の設定方法は次ページを参照ください。

サマータイム終了日の設定

例 終了日：10月の最後の日曜日の場合（2005年10月30日の場合）

❶ 選択キーを押して、"▲"印を右横の"サマータイム設定"に合わせ、サマータイムの開始日の設定が終了して、数秒すると、サマータイム終了日の設定に移ります。

点滅している数字を変更できます。

❷ 例では、"年"は2005年のまま変更しませんので、このままセットキーを押します。
このとき表示の点滅は、"年"から"月"に移ります。

❸ サマータイム終了の"月"を設定します。
変更キーを押して、"10"月に合わせ、次にセットキーを押します。
これで10月が設定できました。
このとき表示の点滅は、"月"から"日"に移ります。

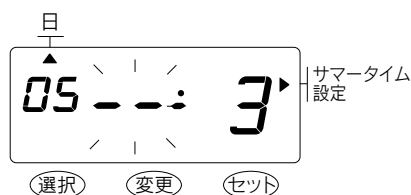
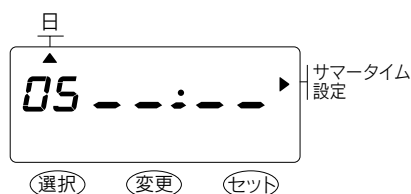
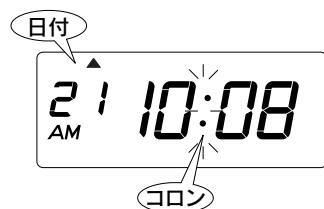
❹ サマータイム終了日の"日"を設定します。
変更キーを押して、"30"日に合わせ、次にセットキーを押します。
これで30日が設定できました。
このとき表示の"日"の点滅が点灯に変わり日曜日の下に"▲"印が点灯します。これでサマータイム終了日の設定が終了しました。

❺ 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

サマータイム設定を取り消す場合

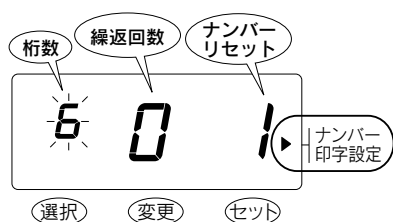
• 一度設定されたサマータイム設定を取り消す場合“サマータイムの開始日”の“月”の表示を“– –”とすることによりサマータイムは無効になります。

1 選択キーを押して、“▲”印を右横の“サマータイム設定”に合わせます。
このとき、数字が点滅します。

点滅している数字を変更できます。

2 “年”は変更しませんので、このままセットキーを押します。
このとき表示の点滅は、“年”から“月”に移ります。

3 サマータイム開始の“月”を変更キーを押して、“– –”に合わせ、次にセットキーを押します。これでサマータイム設定を取り消すことができました。
このとき表示の点滅は、“– –:– –”になります。

4 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

ナンバー印字の設定

• 印字するナンバーの“桁数”（1〜8）、同じナンバーを繰返して印字する場合の“繰返回数”(0〜9)、“ナンバーリセット”の方法を設定します。

例　ナンバーの“桁数”を“4”桁、繰返して印字する場合の“繰返回数”を“2”、“ナンバーリセット”を“「0」に戻す”に設定する場合

1 選択キーを押して、“▲”印を“ナンバー印字設定”に合わせます。

点滅している数字を変更できます。

2 例では、変更キーを押して、“桁数”を“4”桁に合わせて、セットキーを押します。
これで“桁数”を“4”桁に設定できました。

ナンバー桁数は1〜8桁まで設定できます。(初期設定値は“6”桁)

このとき表示の点滅は、“桁数”から“繰返回数”に移ります。

印字例） “6”桁の場合　123456　6-21 '05
“4”桁の場合　1234 6-21　'05

3 同じナンバーを繰返して印字する場合の“繰返回数”を設定します。
変更キーを押して、“繰返回数”を“2”回に合わせ、次にセットキーを押します。これで“繰返回数”を“2”回に設定できました。

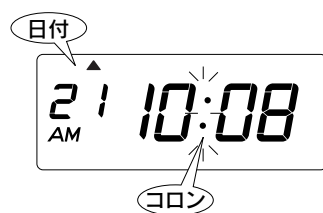
繰返回数は0〜9回まで設定できます。(初期設定値は“0”)

このとき表示の点滅は、“繰返回数”から“ナンバーリセット”に移ります。

印字例） “0”回の場合（1回目）123456　6-21 '05
（2回目）123456　6-21 '05
（3回目）123456　6-21 '05
（4回目）123456　6-21 '05
（5回目）123456　6-21 '05
“2”回の場合（1回目）123456　6-21 '05
（2回目）123456　6-21 '05
（3回目）123457　6-21 '05
（4回目）123457　6-21 '05
（5回目）123458　6-21 '05

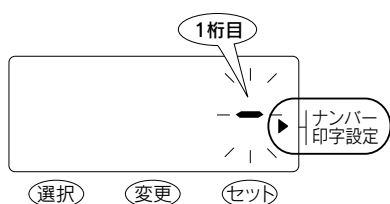
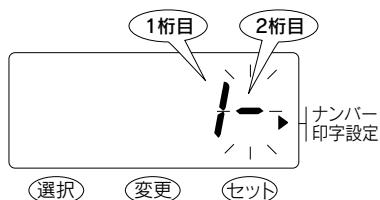
❹ “ナンバーリセット”の方法を設定します。
変更キーを押して、“ナンバーリセット”を“3”(「0」に戻す)に合わせ、次にセットキーを押します。
これで“ナンバーリセット”を“「0」に戻す”に設定できました。
このとき表示の数字が点滅から点燈に変わります。

設定値	ナンバーリセットの設定内容
1*	リセットしない
2	日付が変わった時に戻す(次ページ参照)
3	日付が変わった時に「0」に戻す

*は初期設定値

❺ 最後にセットキーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

ナンバーの初期値の設定

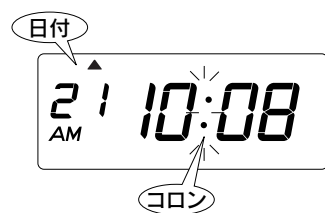
• 印字するナンバーの初期値を設定します。設定した値は“ナンバーリセット”の設定を“2”に設定した場合の初期値になります。

例 ナンバーの“初期値”を“123”に設定する場合

❶ 選択キーを押して、“▲”印を“ナンバーの初期値” に合わせます。
このとき初期値の１桁目の“－”が点滅します。

❷ 例では、変更キーを押して、初期値の１桁目を“１”に合わせて、セットキーを押します。
このとき“1”の次に初期値の2桁目の“－”が点滅します。

❸ 1桁目と同様に、変更キーを押して、初期値の2桁目を“2”に合わせて、セットキーを押します。
このとき“2”の次に初期値の3桁目の“－”が点滅します。

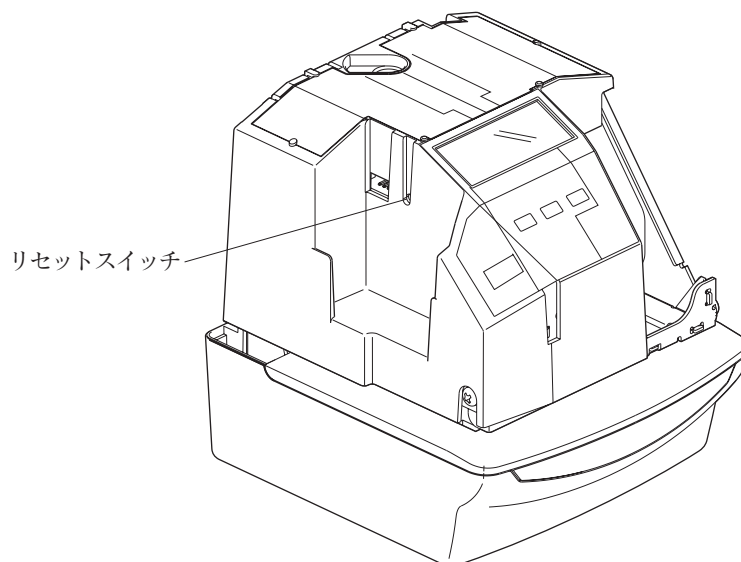
❹ 3桁目も1、2桁目と同様に、変更キーを押して、初期値の3桁目を“3”に合わせて、セットキーを押します。
このとき“3”の次に初期値の4桁目の“－”が点滅します。

> ナンバーの“桁数”を“3”に設定してある場合は、4桁目に“－”は表示されません

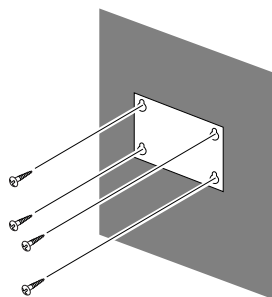
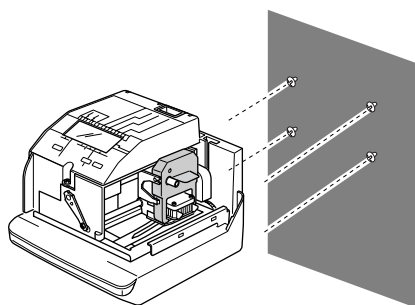
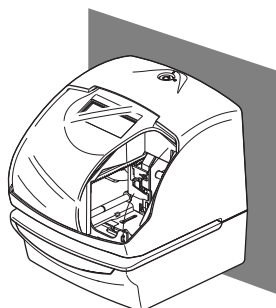
❺ 4桁目は設定しないので、“ – ”のまま[セット]キーを押します。

❻ 最後に[セット]キーを押して設定モードから、通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

6.リセットのしかた

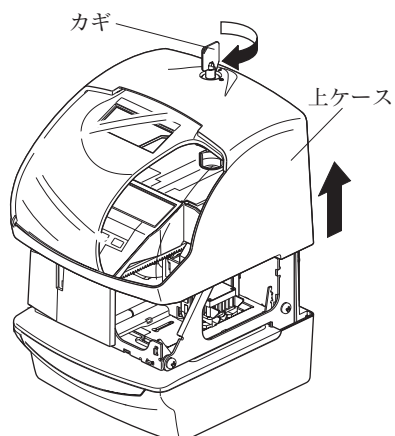
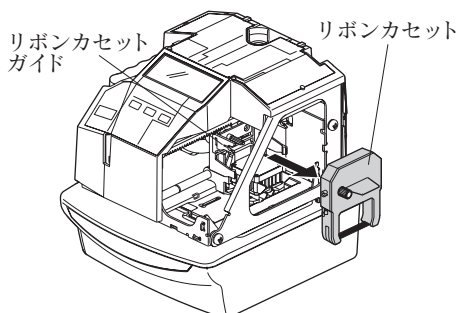
すべての設定を初期の状態(工場出荷時の状態)に戻したいときには、先の細いもので"リセットスイッチ"を押してください。

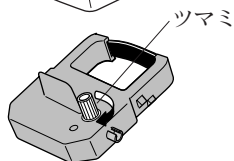
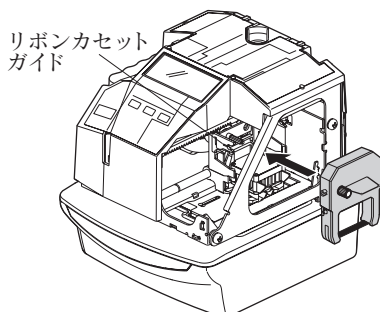
リセットすることにより、お客様が設定した内容は消えてしまいます(初期の状態に戻ります)のでご注意ください。
設定をしなおす場合には「設定のしかた」をご参照ください。

7.壁掛け方法

付属のネジを使って、タイムスタンプを壁に掛けることができます。

警告	同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており､それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。 タイムスタンプが**落下してお客様がケガをされたり、また本体の故障の原因となるおそれがあります**。

❶ 付属の壁掛け取り付け用シートを使い、壁からネジの頭を約6mm出した状態でネジをとめます。

❷ 上ケースをはずしてタイムスタンプ本体を壁に掛けます。

❸ 上ケースを戻してご使用ください。

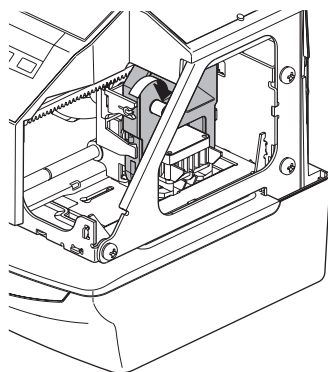
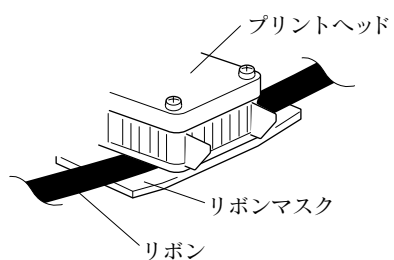
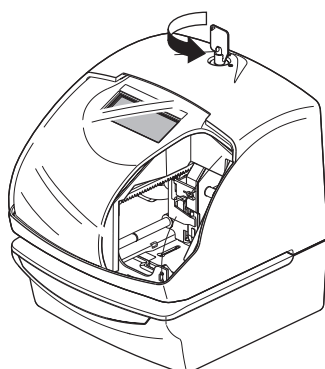
8.リボンの交換

印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。

❶ 左図のように“カギ”を開け、“上ケース”を持ち上に引き上げ外します。

❷ 古い“リボンカセット”の“取っ手”を持ち、左図のように“リボンカセット”を横に引き出し、“リボンカセットガイド”からはずします。

ツマミ

❸ 新しい“リボンカセット”の“ツマミ”を矢印の方向に回して、“リボン”のたるみをとります。

❹ 新しい“リボンカセット”を左図のように、“リボンカセットガイド”に“ツメ”がパチッと音がするまで押し込んでください。入れずらい場合は“リボンカセット”の“ツマミ”をまわしながら入れてください。

❺ リボン交換時のご注意

新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。

下図のようにリボンが、プリントヘッドとリボンマスクの間に入るようにリボンカセットを入れてください。

❻ 装着した“リボンカセット”の“ツマミ”を矢印の方向に回して、リボンのたるみをとります。

❼ 左図のように“上ケース”を戻し“カギ”を閉めます。

9.文字コード一覧

コード	文字	フォント サイズ
00	改行	–
01	スペース	4

コード	文字	コード	文字
F8	文字挿入	FC	1-2 行入換え
F9	文字削除	Fd	2-3 行入換え
FA	行挿入	FE	3-1 行入換え
Fb	行削除	FF	全削除

英数大文字（太）

コード	文字	フォント サイズ	コード	文字	フォント サイズ	コード	文字	フォント サイズ
02	A	9	1b	Z	9	34	[	8
03	B	9	1C	0	9	35	\	9
04	C	9	1d	1	9	36	]	8
05	D	9	1E	2	9	37	^	9
06	E	9	1F	3	9	38	`	6
07	F	9	20	4	9	39	{	8
08	G	9	21	5	9	3A	¦	6
09	H	9	22	6	9	3b	}	8
0A	I	6	23	7	9	3C	~	8
0b	J	9	24	8	9	3d	€	9
0C	K	9	25	9	9	3E	¥	7
0d	L	9	26	年	33(20)	3F		
0E	M	9	27	月	25	40	´	4
0F	N	9	28	日	17	41	*	8
10	O	9	29	曜日	17	42	+	8
11	P	9	2A	時：分	38(50)	43	,	6
12	Q	9	2b	時：分：秒	59(71)	44	-	8
13	R	9	2C	ナンバー	9x(n)	45	.	6
14	S	9	2d	ナンバー	9x(n)	46	/	9
15	T	8	2E	ナンバー	9x(n)	47	:	6
16	U	9	2F	ナンバー	9x(n)	48	;	6
17	V	9	30	ナンバー	9x(n)	49	_	7
18	W	9	31	#	10	4A	&	11
19	X	9	32	$	10			
1A	Y	8	33	@	10			

注1) コード＝26のフォントサイズの( )内の値は、西暦印字の桁数を2桁に設定した場合
注2) コード＝2A,2Bのフォントサイズの( )内の値は、時刻表示をAM/PM表示に設定した場合
注3) コード＝2C～30のフォントサイズの( )内の値は、ナンバーの桁数

カタカナ

コード	文字	フォントサイズ	コード	文字	フォントサイズ	コード	文字	フォントサイズ
4b	ｱ	9	64	ﾊ	9	7d	ｫ	8
4C	ｲ	8	65	ﾋ	8	7E	ｬ	8
4d	ｳ	9	66	ﾌ	8	7F	ｭ	8
4E	ｴ	9	67	ﾍ	9	80	ｮ	7
4F	ｵ	9	68	ﾎ	8	81	ｯ	7
50	ｶ	9	69	ﾏ	9	82	ｰ	9
51	ｷ	9	6A	ﾐ	7	83	ﾞ	4
52	ｸ	8	6b	ﾑ	9	84	ﾟ	5
53	ｹ	9	6C	ﾒ	7	85	｡	7
54	ｺ	7	6d	ﾓ	9	86	｢	8
55	ｻ	9	6E	ﾔ	9	87	｣	8
56	ｼ	8	6F	ﾕ	9	88	､	5
57	ｽ	9	70	ﾖ	7	89	･	6
58	ｾ	9	71	ﾗ	8	8A	0	7
59	ｿ	7	72	ﾘ	7	8b	1	7
5A	ﾀ	8	73	ﾙ	9	8C	2	7
5b	ﾁ	9	74	ﾚ	8	8d	3	7
5C	ﾂ	8	75	ﾛ	9	8E	4	7
5d	ﾃ	9	76	ﾜ	9	8F	5	7
5E	ﾄ	6	77	ﾝ	8	90	6	7
5F	ﾅ	9	78	ｦ	8	91	7	7
60	ﾆ	8	79	ｧ	8	92	8	7
61	ﾇ	8	7A	ｨ	7	93	9	7
62	ﾈ	8	7b	ｩ	8			
63	ﾉ	6	7C	ｪ	8			

英数文字（小）

コード	文字	フォントサイズ	コード	文字	フォントサイズ	コード	文字	フォントサイズ
94	A	7	b5	7	7	d6	時：分	27(38)
95	B	7	b6	8	7	d7	時：分：秒	41(58)
96	C	7	b7	9	7	d8	ナンバー	7x(n)
97	D	7	b8	a	6	d9	ナンバー	7x(n)
98	E	7	b9	b	6	dA	ナンバー	7x(n)
99	F	7	bA	c	6	db	ナンバー	7x(n)
9A	G	7	bb	d	6	dC	ナンバー	7x(n)
9b	H	7	bC	e	6	dd	#	7
9C	I	5	bd	f	5	dE	$	7
9d	J	7	bE	g	6	dF	@	7
9E	K	7	bF	h	6	E0	[	6
9F	L	7	C0	l	3	E1	＼	7
A0	M	7	C1	j	4	E2	]	6
A1	N	7	C2	k	6	E3	^	5
A2	O	7	C3	l	3	E4	`	4
A3	P	7	C4	m	7	E5	{	6
A4	Q	7	C5	n	6	E6	|	5
A5	R	7	C6	o	6	E7	}	6
A6	S	7	C7	p	6	E8	～	7
A7	T	7	C8	q	6	E9	€	7
A8	U	7	C9	r	6	EA	¥	6
A9	V	7	CA	s	6	Eb		
AA	W	7	Cb	t	5	EC	´	4
Ab	X	7	CC	u	6	Ed	*	7
AC	Y	7	Cd	v	6	EE	+	7
Ad	Z	7	CE	w	7	EF	,	5
AE	0	7	CF	x	7	F0	-	6
AF	1	7	d0	y	6	F1	.	5
b0	2	7	d1	z	7	F2	/	7
b1	3	7	d2	年	25(16)	F3	:	5
b2	4	7	d3	月	19	F4	;	5
b3	5	7	d4	日	13	F5	_	5
b4	6	7	d5	曜日	13	F6	&	9

注1) コード＝d2のフォントサイズの( )内の値は、西暦印字の桁数を2桁に設定した場合
注2) コード＝d6,d7のフォントサイズの( )内の値は、時刻表示をAM/PM表示に設定した場合
注3) コード＝d8～dCのフォントサイズの( )内の値は、ナンバーの桁数